

ASD児に対していわゆる「非認知能力」をどう育むかⅢ -スクリプトによる社会・情動力のマネジメント-

【主催】コミュニケーション発達支援とスクリプト研究会

本研究会では、令和3年度より「非認知能力」に注目し、スクリプトを活用した支援の可能性を議論してきました。認知能力がいわゆるIQに代表されるテストで測ったり数値化したりできる知的な能力（学力）を指すのに対して、非認知能力は認知能力“以外のもの”を広く指す言葉です。

OECD（2015）では「社会情動的スキル」として、目標の達成、他者との協力、情動の抑制といった下位カテゴリーが示されています。つまり、非認知能力とは「目標や意欲、興味・関心をもち、粘り強く、仲間と協調して取り組む力や姿勢を中心」とした力ということが出来ます（無藤、2016）。また非認知能力の概念について、心理学分野では、1980年代から主にPiaget批判からなされてきた一方、2000年以降より、教育学・支援分野でも展開されはじめ、近年、アクティブ・ラーニング、「主体的、対話的な深い学び」などの学習指導要領の改訂なども相まって、広く使われるようになってきている経緯もあります。

そこで、今回の研究会では、「スクリプトによる社会・情動力のマネジメント」に焦点を当て、日常生活の文脈を活用するスクリプト支援が、ASD児や知的障害児の「非認知能力」のどのような機能の発達に寄与するのか、また、日常生活全般への般化効果はどの程度あるのかを、検討したいと考えます。久々の対面開催（オンラインを含むハイブリッド形式）です。皆様、是非、ご参加ください。

1. 日 時：令和5年7月1日（土） 10時00分～15時40分

2. 開催方法：対面（30名限定）およびオンラインによるハイブリッド開催とします。

3. 会 場：実践女子大学 渋谷キャンパス創立120周年記念館・5階504講義室
（東京都渋谷区東1丁目1-4-9）

4. 参加費：無料

5. 日 程・内 容

9:30 受付開始

10:00 【講演】「(タイトル)」

長崎 勤（実践女子大学）

11:30-12:00 令和5年度 総会

13:00 【シンポジウム】

「ASD児に対していわゆる『非認知能力』をどう育むかⅢ
-スクリプトによる社会・情動力のマネジメント-

司会者：関戸 英紀（東海大学）

話題提供

「知的障害児の性的行動問題の改善—特設スクリプトによることばの獲得の効果—」

原田 崇（宮崎県立児湯るびなす支援学校）

「(仮) ASD児に対する朝の会における情動調整支援」

吉井 勤人（山梨大学）

青木 雄一（東京学芸大学附属特別支援学校）

「『迷い、相談し、問題解決する』力を育てる—宅急便ゲームでの欠品への注文者への対応—」

長崎 勤（実践女子大学）

14:10 指定討論・全体討論

指定討論者：松田信夫（山口学芸大学）・宮崎 眞（ご所属）

15:40 閉会

※ 参加申込：対面参加、オンライン参加共に、下記のフォームよりお申し込みください。

申し込み締め切り：6月19日（月）*対面参加は定員に達した段階で申し込みを締め切らせていただきます。

web 申し込みの URL : <https://forms.gle/6oXK5J1Q5XmH8VMW7>

